安全データシート

レゾナールベースコートSB 原色MM 120-22

1. 化学品及び会社情報

GHS製品識別名 : レゾナールベースコートSB 原色MM 120-22

SDS code : R60018

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
業務用

使用上の制限
Consumer use

製造業者 :

供給者 : アクゾノーベルコーティング株式会社
東京都国立市泉4丁目8－7
TEL: +81-42-843-0081
FAX: +81-42-577-7444
www.lesonal.com

本SDS担当者の電子メールアドレス : PSRA_SSH@akzonobel.com

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 引火性液体 - 区分3
皮膚刺激性 - 区分2
眼に対する重篤な損傷 - 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)(麻酔作用) - 区分3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体及び蒸気
重篤な眼の損傷
皮膚刺激
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策 : 保護手袋を着用すること。 保護衣を着用すること。 保護眼鏡又は保護面を着用すること。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 蒸気の吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置 : 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。 皮膚を流水で洗うこと。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の手当てを受けること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師に連絡すること。

保管 : 施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

2. 危険有害性の要約

その他の危険有害性 ： 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 ： 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	化審法既存及び新規公示化学物質	労働安全衛生法
酢酸ブチル	≥25 - ≤50	123-86-4	2-731	2-(6)-226
1ーブタノール	≤10	71-36-3	(2)-3049	2-(8)-299
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	≤10	107-98-2	(2)-404	2-(8)-379
キシレン	2.7	1330-20-7	(3)-3; (3)-60	(3)-3; (3)-60
吸入性のカーボンブラック粉末	≤3.0	1333-86-4	(5)-5222; (5)-3328	(5)-5222; (5)-3328
プロピルアルコール	≤3.0	71-23-8	2-207	(2)-207
イソプロパノール	≤3.0	67-63-0	(2)-207	2-(8)-319
エチルベンゼン	0.63	100-41-4	3-28; 3-60	(3)-28; (3)-60
2ーブトキシエチル＝アセタート	<1.0	112-07-2	(2)-740	(2)-740

供給者の現在有する知識範囲と該当する濃度において、健康または環境に対して危険有害性があると分類されるために、このセクションで報告が義務づけられている追加成分は含まれておりません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

眼に入った場合 ： 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用していて容易に外せる場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

吸入した場合 ： 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 ： 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

飲み込んだ場合 ： 直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

眼に入った場合 ： 重篤な眼の損傷

吸入した場合 ： 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。 眠気又はめまいのおそれ

皮膚に付着した場合 ： 皮膚刺激

飲み込んだ場合 ： 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 ： 情報なし。

4. 応急措置

過剰にばく露した場合の徴候症状

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
吐き気または嘔吐
頭痛
眠気/疲労
浮動性のめまい／目眩
意識不明

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
充血
水ぶくれになることがある

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置

応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

特定の治療法 : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照（セクション11）

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、水噴霧、泡消火剤を使用します。

使ってはならない消火剤 : ウォータージェットを使用してはならない。

特有の危険有害性 : 引火性液体及び蒸気 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。 ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 全ての発火源を遮断する。 危険地域には、発火信号、煙草、火焔機器を持ち込まない。 蒸気やミストを呼吸しない。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

6. 漏出時の措置

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

大量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。 放出現場には風上から近づくこと。 下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。 漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。 本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。 漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。 注意: 緊急時連絡情報については第1章を、廃棄処理については第13章を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 蒸気やミストを呼吸しない。 摂取してはならない。 換気が十分な場所でのみ使用する。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。 防爆型の電気装置(換気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気防止対策を講じる。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 隔離され認定された場所に貯蔵する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 あらゆる発火源を除去する。 酸化性物質に近づけない。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
酢酸ブチル	**日本産業衛生学会(日本、5/2018)。** OEL-M: 475 mg/m³ 8 時間。 OEL-M: 100 ppm 8 時間。 **労働安全衛生法(日本、10/2019)。** 管理濃度: 150 ppm 8 時間。
1-ブタノール	**日本産業衛生学会(日本、5/2018)。皮膚から吸収。** OEL-C: 150 mg/m³ OEL-C: 50 ppm **労働安全衛生法(日本、10/2019)。** 管理濃度: 25 ppm 8 時間。
キシレン	**労働安全衛生法(日本、10/2019)。** 管理濃度: 50 ppm 8 時間。 **日本産業衛生学会(日本、5/2018)。** OEL-M: 50 ppm 8 時間。 OEL-M: 217 mg/m³ 8 時間。
イソプロパノール	**日本産業衛生学会(日本、5/2018)。** OEL-C: 980 mg/m³ OEL-C: 400 ppm **労働安全衛生法(日本、10/2019)。** 管理濃度: 200 ppm 8 時間。
エチルベンゼン	**日本産業衛生学会(日本、5/2018)。** OEL-M: 217 mg/m³ 8 時間。 OEL-M: 50 ppm 8 時間。

8. ばく露防止及び保護措置

	労働安全衛生法 (日本、10/2019)。 管理濃度: 20 ppm 8 時間。

設備対策 : 換気が十分な場所でのみ使用する。 工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者がばく露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定ばく露限界以下に保つ。 ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を爆発下限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。 防爆型換気装置を使用する。

環境暴露管理 : 換気装置及び作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。 場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために 煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。

保護具

衛生対策 : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を充分に洗う。 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。 汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。 作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

保護眼鏡/保護面 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃へのばく露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な場合もある。

皮膚及び身体の保護具

身体保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 静電気から引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。 静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

その他の皮膚保護具 : この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

臭いのしきい値 : 情報なし。

pH : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

初留点及び沸騰範囲 : 83℃

引火点 : 密閉式: 26℃

蒸発速度 : 情報なし。

可燃性(固体、気体) : 情報なし。

燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 確認済み最大域: 下限: 1.48含有量(%) 上限: 13.74含有量(%) (1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン)

蒸気圧 : 情報なし。

蒸気密度 : 確認済み最高値: 4.6 (空気 = 1) (1ーメトキシー2ープロピルアセタート). 加重平均: 3.72 (空気 = 1)

相対密度 : 0.941

溶解度 : 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

n-オクタノール／水分配係数 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。
分解温度 : 情報なし。
粘度 : 動粘性率 (室温): 3.4 cm^2/s

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : いかなる発火源 (火花あるいは炎) にも近づけてはならない。 加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性:
酸化性物質

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露
酢酸ブチル	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	390 ppm	4 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	マウス	6 g/m^3	2 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	390 ppm	4 時間
	LD50 経皮	ウサギ	>17600 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	1230 mg/kg	-
	LD50 経口	モルモット	4700 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	6 g/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	3200 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	10768 mg/kg	-
1ーブタノール	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	24000 mg/m^3	4 時間
	LD50 経皮	ウサギ	3400 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	254 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ラット	200 mg/kg	-
	LD50 静脈内	マウス	377 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ラット	310 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	100 mg/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	3484 mg/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	3400 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	0.79 g/kg	-
	LD50 経口	ラット	4.36 g/kg	-
	LD50 経口	ラット	790 mg/kg	-
	LD50 皮下	マウス	3200 mg/kg	-
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	10000 ppm	5 時間
	LD50 経皮	ウサギ	13 g/kg	-
	LD50 腹腔内	ラット	3720 mg/kg	-
	LD50 静脈内	マウス	5300 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ウサギ	1200 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ラット	4200 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	11700 mg/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	5700 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	6600 mg/kg	-
	LD50 皮下	ウサギ	5 g/kg	-
	LD50 皮下	ラット	7800 mg/kg	-
キシレン	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	5000 ppm	4 時間

11. 有害性情報

	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	6700 ppm	4 時間
	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	6670 ppm	4 時間
	LD50 腹腔内	マウス	1548 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	1548 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ラット	2459 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	2119 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	4300 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	4300 mg/kg	-
	LD50 皮下	ラット	1700 mg/kg	-
吸入性のカーボンブラック粉末	LD50 経口	ラット	>15400 mg/kg	-
プロピルアルコール	LD50 経皮	ウサギ	5040 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	モルモット	1208 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	3125 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ウサギ	515 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ラット	2164 mg/kg	-
	LD50 静脈内	マウス	697 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ウサギ	483 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ラット	590 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	6800 mg/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	2825 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	1870 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	2200 mg/kg	-
	LD50 皮下	マウス	4700 mg/kg	-
イソプロパノール	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	16000 ppm	8 時間
	LD50 経皮	ウサギ	12800 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	モルモット	2560 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	4477 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ウサギ	667 mg/kg	-
	LD50 腹腔内	ラット	2735 mg/kg	-
	LD50 静脈内	マウス	1509 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ウサギ	1184 mg/kg	-
	LD50 静脈内	ラット	1088 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	3600 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	3600 mg/kg	-
	LD50 経口	ウサギ	6410 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	5045 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	5000 mg/kg	-
エチルベンゼン	LC50 吸入した場合 ガス	ウサギ	4000 ppm	4 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	マウス	35500 mg/m³	2 時間
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	55000 mg/m³	2 時間
	LD50 経皮	ウサギ	>5000 mg/kg	-
	LD50 経皮	ウサギ	17800 uL/kg	-
	LD50 腹腔内	マウス	2624 uL/kg	-
	LD50 経口	ラット	3500 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	3500 mg/kg	-
2ーブトキシエチル＝アセタート	LD50 経皮	ウサギ	1500 mg/kg	-
	LD50 経口	マウス	3200 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	2400 mg/kg	-

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露	観察
酢酸ブチル	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
1ーブタノール	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 2 mg	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	0.005 Ml	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	1.62 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 20 mg	-
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
キシレン	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	87 mg	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 5 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ラット	-	8 時間 60 Ul	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	100 %	-
プロピルアルコール	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 20 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
イソプロパノール	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-

11. 有害性情報

	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
エチルベンゼン	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 15 mg	-
2-ブトキシエチル=アセタート	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-

感作性

情報なし。

変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

催奇形性

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

名称	カテゴリー	ばく露経路	標的器官
酢酸ブチル	区分3	該当しない	麻酔作用
1-ブタノール	区分3	該当しない	気道刺激性 および 麻酔作用
1-メトキシー2-ヒドロキシプロパン	区分3	該当しない	麻酔作用
キシレン	区分3	該当しない	気道刺激性
プロピルアルコール	区分3	該当しない	麻酔作用
イソプロパノール	区分3	該当しない	麻酔作用

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

名称	カテゴリー	ばく露経路	標的器官
エチルベンゼン	区分2	未確定	聴覚器

誤えん有害性

名称	結果
キシレン	誤えん有害性 - 区分1
エチルベンゼン	誤えん有害性 - 区分1

可能性のあるばく露経路についての情報 : 情報なし。

予想される急性健康影響

眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷

吸入した場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。 眠気又はめまいのおそれ

皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激

飲み込んだ場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血

11. 有害性情報

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
吐き気または嘔吐
頭痛
眠気/疲労
浮動性のめまい／目眩
意識不明

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
充血
水ぶくれになることがある

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期的にばく露した場合の徴候症状

潜在的な即時性作用 : 情報なし。

予想される遅発性影響 : 情報なし。

長期暴露

潜在的な即時性作用 : 情報なし。

予想される遅発性影響 : 情報なし。

健康への慢性効果の可能性

情報なし。

概要 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

経路	急性毒性推定値(ATE値)
経口 経皮 吸入 (蒸気)	5565 mg/kg 32595 mg/kg 326 mg/l

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露
酢酸ブチル	急性 LC50 32 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia salina	48 時間
	急性 LC50 100000 µg/l 淡水	魚類 - Lepomis macrochirus	96 時間
	急性 LC50 18000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 185000 µg/l 海水	魚類 - Menidia beryllina	96 時間
	急性 LC50 62000 µg/l 淡水	魚類 - Danio rerio	96 時間
1ーブタノール	急性 EC50 1983 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 2300000 µg/l 海水	魚類 - Alburnus alburnus	96 時間
	急性 LC50 1910000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間
	急性 LC50 1940000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間
	急性 LC50 1730000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
キシレン	急性 EC50 90 mg/l 淡水	甲殻類 - Cypris subglobosa	48 時間
	急性 LC50 8.5 ppm 海水	甲殻類 - Palaemonetes pugio - 成体	48 時間

12. 環境影響情報

	急性 LC50 8500 µg/l 海水	甲殻類 - Palaemonetes pugio	48 時間
	急性 LC50 15700 µg/l 淡水	魚類 - Lepomis macrochirus - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間
	急性 LC50 20870 µg/l 淡水	魚類 - Lepomis macrochirus	96 時間
	急性 LC50 19000 µg/l 淡水	魚類 - Lepomis macrochirus	96 時間
	急性 LC50 13400 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 16940 µg/l 淡水	魚類 - Carassius auratus	96 時間
吸入性のカーボンブラック粉末	急性 EC50 37.563 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 61.547 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
プロピルアルコール	急性 EC50 4480000 µg/l 淡水	藻類 - Selenastrum sp.	96 時間
	急性 EC50 3644 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 EC50 4620000 µg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 2500000 µg/l 淡水	甲殻類 - Asellus aquaticus	48 時間
	急性 LC50 1000000 µg/l 淡水	甲殻類 - Gammarus pulex	48 時間
	急性 LC50 5820000 µg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia cucullata	48 時間
	急性 LC50 3100000 µg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 2950000 µg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 3800000 µg/l 海水	魚類 - Alburnus alburnus	96 時間
	急性 LC50 4630000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 4480000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
イソプロパノール	急性 EC50 10100 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 EC50 7550 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 EC50 9550 mg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 1400000 µg/l 海水	甲殻類 - Crangon crangon	48 時間
	急性 LC50 6550000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 9640000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 10400000 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 4200 mg/l 淡水	魚類 - Rasbora heteromorpha	96 時間
エチルベンゼン	急性 EC50 4900 µg/l 海水	藻類 - Skeletonema costatum	72 時間
	急性 EC50 7700 µg/l 海水	藻類 - Skeletonema costatum	96 時間
	急性 EC50 4600 µg/l 淡水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間
	急性 EC50 5400 µg/l 淡水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間
	急性 EC50 3600 µg/l 淡水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	96 時間
	急性 EC50 6.53 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia sp. - ノープリウス	48 時間
	急性 EC50 13.3 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia sp. - ノープリウス	48 時間
	急性 EC50 2.97 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 EC50 2.93 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 8.78 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia sp. - ノープリウス	48 時間
	急性 LC50 13.3 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia sp. - ノープリウス	48 時間
	急性 LC50 40000 µg/l 海水	甲殻類 - Cancer magister - ゾエア	48 時間
	急性 LC50 18.4 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 13.9 mg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 75000 µg/l 淡水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 5100 µg/l 海水	魚類 - Menidia menidia	96 時間
	急性 LC50 9090 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 9100 µg/l 淡水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 LC50 4200 µg/l 淡水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
	急性 LC50 4.3 ul/L 海水	魚類 - Morone saxatilis - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

12. 環境影響情報

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
酢酸ブチル	2.3	-	低
1ーブタノール	1	-	低
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	<1	-	低
キシレン	3.12	8.1 から 25.9	低
プロピルアルコール	0.2	-	低
イソプロパノール	0.05	-	低
エチルベンゼン	3.6	-	低
2ーブトキシエチル＝アセタート	1.51	-	低

土壌中の移動性

土壌/水分配係数(K_{OC}) : 情報なし。

移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 製品残渣からの蒸気は、容器内部に高度に可燃性または爆発性のガス体を生じさせるおそれがある。 使用済み容器は内部が十分に洗浄されていない限り、切断、溶接または粉砕を行ってはならない。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
UN番号	UN1263	UN1263	UN1263
品名	PAINT	PAINT	PAINT
国連分類 クラス	3 	3 	3 
容器等級	III	III	III
環境有害性	非該当	Marine Pollutant(s): Not available.	No.

追加情報

IMDG : **緊急時スケジュール** F-E, _S-E_

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	第二石油類	Ⅲ	火気厳禁	1000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

指定可燃物 : 情報なし。

指定数量 : 情報なし。

船舶安全法

船舶による危険物の運送基準等を定める告示

非該当

容器等級

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
酢酸ブチル	≥25 - ≤50	該当	181
1ーブタノール	≤10	該当	477
キシレン	≤3.0	該当	136
エチルベンゼン	<1.0	該当	70
プロピルアルコール	≤3.0	該当	494
イソプロパノール	≤3.0	該当	494
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	≤10	該当	496
吸入性のカーボンブラック粉末	≤3.0	該当	130

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
酢酸ブチル	≥25 - ≤50	該当	181
1ーブタノール	≤10	該当	477
キシレン	≤3.0	該当	136
エチルベンゼン	<1.0	該当	70
プロピルアルコール	≤3.0	該当	494
イソプロパノール	≤3.0	該当	494
1ーメトキシー2ーヒドロキシプロパン	≤10	該当	496
吸入性のカーボンブラック粉末	≤3.0	該当	130
2ーブトキシエチル＝アセタート	<1.0	該当	79-2

発がん性物質

非該当

変異原性物質

非該当

腐食性液体 : 非該当

労働安全衛生法施行令 別表第一 危険物 : 引火性液体 第3種有機溶剤等

鉛中毒予防規則 : 非該当

四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

製造等が禁止される有害物等 : 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法施行令　別表第一　危険物 ： 引火性の物

有機溶剤中毒予防規則 ： 第2種有機溶剤

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
1－ブタノール	≤10	優先評価化学物質	124
キシレン	≤3.0	優先評価化学物質	125
トルエン	≤0.10	優先評価化学物質	46
エチルベンゼン	<1.0	優先評価化学物質	50
イソプロパノール	≤3.0	優先評価化学物質	102
2，6－ジ－tert－ブチル－p－クレゾール	<0.10	優先評価化学物質	64
2－ブトキシエチル＝アセタート	<1.0	優先評価化学物質	118
無水酢酸	≤0.10	優先評価化学物質	93
2－ブトキシエタノール	≤0.10	優先評価化学物質	109

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
キシレン	2.7	第一種	80

日本産業衛生学会 発がん性物質 ： 第2群B

海洋汚染防止法 ： 情報なし。

道路法 ： 情報なし。

特別管理産業廃棄物 ： 非該当

16. その他の情報

履歴

印刷日 ： 2024-03-22.

発行日/ 改訂版の日付 ： 2023-06-09.

前作成日 ： 2023-06-09.

バージョン ： 1.01

分類を行うために使用する手順

分類	由来
引火性液体 - 区分3	試験データに基づく
皮膚刺激性 - 区分2	算出方法
眼に対する重篤な損傷 - 区分1	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露)(麻酔作用) - 区分3	算出方法

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

16. その他の情報

専門的な知識を有する方のご使用を願います。
重要事項　本データシートに記載されている情報は、余すところなく完璧であることを意図したものではなく、現時点における知識及び現行の法律に基づくものです。意図する目的のためにこの製品の適合性について最初に弊社からの書面による確認を得ることなく、テクニカルデータシートに特別に推奨された以外のいかなる目的にもこの製品を使用する場合は、使用者自身の責任において使用してください。現地の規則や法律に規定されている要求を履行するために必要な全ての手段をとることは常に使用者の責任となります。入手した場合、常にこの製品の製品データシートとテクニカルデータシートをお読みください。
弊社からの全てのアドバイスもしくは、この製品使用について弊社が行ったいかなるアドバイスも（本データシートまたは別のものにおいて）正確を期してはおりますが、被塗物の品質や状態、もしくはこの製品の使用や塗装に影響を及ぼす多くの要因を管理することは出来ません。したがって、弊社が書面で明確に合意をしない限り、製品のいかなる性能もしくは製品の使用によって生じるいかなる損失もしくは損傷に対しても、弊社ではその責を負いかねます。供給される全製品及び与えられる技術的なアドバイスは弊社規定の販売条件書を前提としております。本書のコピーを要求し、注意深く検討して下さい。
本データシートに記載されている情報は、弊社の技術経験や継続的な製品開発方針によって、順次見直されています。製品の使用前に、本データシートが現在流通しているものであることを確認するのは使用者の責任です。

本データシートに記載されているブランド名は、Akzo Nobel社の商標又はAkzo Nobelが使用権を有するものです。

IA_493